

## 革新プラットフォームを生かし 居住性と積載性を高次元で両立。

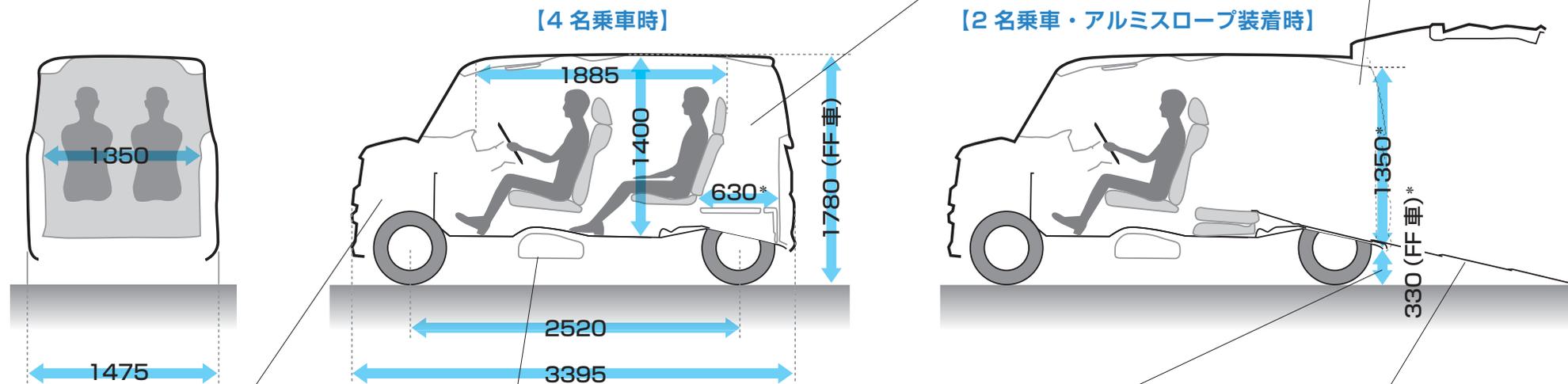
サイズが制限された軽自動車ではリア席の快適性と荷室のバランスが課題となります。Hondaは革新プラットフォームの圧倒的な広さを生かし、フィット同等のリア席ひざ回り空間を確保しながら荷室を拡大。さらに、新発想の斜めの床とアルミスロープ\*によるユニバーサルブリッジで、荷物や道具の積み降ろしを格段に容易にしました。

### 荷室

N BOX に対しリアシートを前方に配置。フィット同等のリア席ひざ回り空間を確保しながら、N BOX より215mm 長い 630mm\*の荷室長を実現しました。

### テールゲート開口高さ

開口地上高を低くすることで、開口部の高さを N BOX より150mm 高い 1,350mm\*に拡大。背の高い荷物も容易に積み降ろしできます。



### ミニマムエンジンルーム

衝突時に補機類がつぶれるなどして衝撃吸収スペースをつくり出す画期的エンジンによりエンジンルームをミニマム化しています。

### センタータンクレイアウト

燃料タンクをフロント席下に配置するHonda 独創のパッケージング技術。これにより、リア席・荷室の低床化と空間拡大を実現しています。

### テールゲート開口地上高

開口部の最低地上高を、N BOX に対し150mm 低い 330mm (FF車)\*に設定。重い荷物も高く持ち上げる必要がなくラクに積み降ろしできます。

### ユニバーサルブリッジ

斜めの床とアルミスロープ\*によるユニバーサルブリッジ。バイクや耕うん機などの重い道具もラクに積み降ろしできます。リア席下に燃料タンクを持たないセンタータンクレイアウトが可能になりました。

\*Honda測定値  
単位=mm

\* アルミスロープはディーラーオプション